

課題番号：R03-033	※バイオバンク記入欄
研究課題名：精巣組織のIn Vitro MRIと病理標本の比較に関する多施設共同研究	
<b>&lt;1. 研究の目的&gt;</b> この研究において、手術で摘出された精巣組織に対してMRI画像を作成し、実際の病理学的構造との関連を解析することで、将来的にはMRI画像を無精子症の患者さんの治療に役立てることを目的としています。	
<b>&lt;2. 研究対象者&gt;</b> 西暦2018年4月1日から2022年3月31日までに精巣摘出術（部分切除術を含む）を施行された方のうち、つくばヒト組織バイオバンクセンターに登録され、検体の利用に対して包括同意が得られている患者さん。	
<b>&lt;3. 研究期間&gt;</b> 倫理委員会承認後～2023年3月31日	
<b>&lt;4. 研究の方法&gt;</b> 本研究は、普段の診療の中で採取された検体の一部を用いて、MRI画像と病理標本を作製し、比較します。検体は、国立がん研究センターでMRI画像を作成します。主な解析は筑波大学附属病院と国立がん研究センターで行いますが、病理標本の作製を受託検査機関に依頼する場合があります。またMRI画像に影響を与えると考えられる診療情報をカルテから収集させていただきます。	
<b>&lt;5. 試料・情報の項目&gt;</b> 「診療で採取した組織、血液をつくばヒト組織バイオバンクセンターで保管することについて のお願い」（2016年9月以降）、及び「筑波大学附属病院で診療を受けられる患者さんへ」 （2016年9月以前）により同意の得られた患者試料・情報 ■組織 （対象臓器：精巣） （対象疾患：精巣腫瘍、整復不能の精巣捻転、難治性の精巣痛、陰部の感染症や変性疾患、外科的去勢術を要する前立腺癌等） <input type="checkbox"/> 血液試料（ ） <input type="checkbox"/> その他試料（ ） ■臨床情報 （診断名、年齢、既往歴と治療歴、生活歴、パートナーの妊娠歴、その他問診票記載項目（加齢男性症状スコア等）、一般採血	
<b>&lt;6. 試料・情報の第三者への提供について&gt;</b> 国立がん研究センター：MRI画像の作製 受託検査会社（Tsukuba Pathological Analysis Support Serviceなど）：病理標本の作製	
<b>&lt;7. 試料・情報の管理について責任を有する人&gt;</b> 筑波大学医学医療系 泌尿器科 西山博之	
<b>&lt;8. 研究機関名及び研究責任者名&gt;</b> 筑波大学医学医療系 泌尿器科 西山博之 国立がん研究センター先端医療開発センター機能診断開発分野 山口雅之	
<b>&lt;9. 本研究への参加を希望されない場合&gt;</b> 患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。	
<b>&lt;10. 問い合わせ連絡先&gt;</b> 筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1 所属・担当者名：つくばヒト組織バイオバンクセンター 担当 竹内朋代 電話・FAX：029-853-3715（土日祝日を除く9～17時） メール：bank298@hosp.tsukuba.ac.jp	